

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業： 三沢市立図書館管理運営業務事業）			
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀			
実施場所	三沢市桜町一丁目5番43号			
補助事業の 成果の目標	<p>三沢市立図書館は、地域住民の教育と文化の発展を目的に昭和57年に設置され、三沢市公会堂と並び、長年にわたり地域住民に愛され、親しまれている文化施設である。</p> <p>本施設では民間活力の導入によるサービス向上を目指し、平成20年度から指定管理者による施設管理を行っており、司書等の専門的知識を有する管理者が幼児や児童を対象にした“語り聞かせ事業”、小中学生を対象にした書籍を活用して自ら考える力を伸ばす、“調べる学習コンクール”といった多様な事業を展開している一方、施設の老朽化などにより維持管理経費が増加するとともに、電子書籍の普及により利用者数も減少傾向にあることから、サービスの多様化も求められているところである。</p> <p>このことから、調整交付金の充当により、地域住民に愛される図書館事業を継続し、地域住民の活用や利用満足度の向上を目指しつつ、地域住民の豊かな人生の増進を図るものである。</p>			
補助事業の内容	三沢市立図書館管理運営業務一式			
補助事業の 始期及び終期	令和2年度			
事業費及び交付金額		令和2年度		計
	事業費	円 17,348,206		円 17,348,206
	交付金額	13,000,000		13,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>【成果】新型コロナウイルス感染症の拡大によって、利用者は減少した（前年度：92,529人→R2年度：71,303人）ものの、貸出冊数は増加（前年度：82,945冊→R2年度：87,799冊）した。</p> <p>【評価】貸出冊数が増加したことに加え、例年より対象者の範囲は狭めたものの、成人向けの利活用促進事業である“読書推進公演会”や教育委員会・県立三沢航空科学館と連携した調べ学習“みさわわくわくサマーゼミナール”といった多様な事業を展開することにより、幅広い世代への読書機会や図書を活用した学習機会を提供している。</p> <p>また、放課後や学校が休みの時期には、学生の学習活動の場として活用されるなど、地域住民に広く活用されている。</p> <p>加えて、施設利用者に対しアンケート調査を行った結果、資料・接遇・サービスについての設問では、「満足」と「やや満足」を合わせた満足度割合が約79%であり、利用者満足度は高いと評価できる。</p> <p>【周知の実施状況】ウェブサイトや市広報紙などで調整交付金事業である旨を掲載した。</p>			
事業の改善措置及び 今後の対応	今後も地域住民の生活環境を維持し、適正な維持管理を実施する。			
事業の評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無			